



奈良県感染症情報

令和元年 第 34 週(8 月 19 日～ 8 月 25 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.44	(2.62)	→	↘	→	↘
2	A群溶連菌咽頭炎	1.62	(0.65)	↑	↗	↑	↘
3	RS ウイルス感染症	1.53	(1.09)	↑	↑↑	↑	↓
4	手足口病	1.15	(2.53)	↓	↓	↓	↓
5	伝染性紅斑	0.74	(0.50)	→	→	↑	↓

発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減：過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

RSウイルス感染症の報告数が、先週に引き続き多くなっています。今後も流行の拡大が予想されるため、注意が必要です。RSウイルスに感染すると、2～8日の潜伏期間を経て、発熱や鼻水などの上気道炎症状が数日続きます。多くの場合、軽症でおさまりますが、1歳未満の乳児の場合は、急性細気管支炎や肺炎などの重い呼吸器症状をおこすことがあります。また、呼吸器や心臓に疾患のある高齢者においても、重症化しやすく、死亡することもあります。

咳が出るなどの症状がある年長児や成人は、できるかぎり乳児や高齢者との接触を避け、マスクを着用することが大切です。また、子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどはこまめにアルコールで消毒し、きちんと手洗いを行いましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

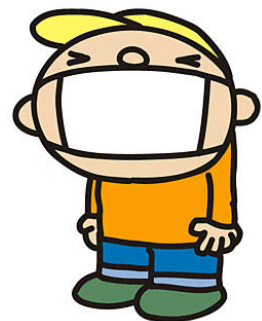
手足口病やヘルパンギーナ、アデノウイルス感染症など夏かぜは減少している。RS ウイルスによる気管支炎がみられた。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

夏風邪、ヘルパンギーナ、手足口病は減少し殆ど見られなくなった。
感染性腸炎が持続、嘔吐の例もある。
流行性耳下腺炎があった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

手足口病、ヘルパンギーナは減少。胃腸炎は横ばい。
軽症だが遷延する呼吸器感染症が増加してきている。
RS ウイルス感染症もみられる。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 1 年 第 34 週 8 月 19 日 ~ 25 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	52 (1.53)	12 (1.33)	8 (0.89)	11 (1.57)	21 (3.50)			
咽頭結膜熱	17 (0.50)	2 (0.22)	1 (0.11)	3 (0.43)	10 (1.67)	1 (1.00)		
A群溶連菌咽頭炎	55 (1.62)	7 (0.78)	10 (1.11)	9 (1.29)	28 (4.67)		1 (0.50)	
感染性胃腸炎	83 (2.44)	14 (1.56)	14 (1.56)	20 (2.86)	33 (5.50)		2 (1.00)	
水痘	6 (0.18)	2 (0.22)	2 (0.22)		2 (0.33)			
手足口病	39 (1.15)	2 (0.22)	5 (0.56)	14 (2.00)	15 (2.50)		3 (1.50)	
伝染性紅斑	25 (0.74)	12 (1.33)		2 (0.29)	10 (1.67)		1 (0.50)	
突発性発しん	18 (0.53)	3 (0.33)	7 (0.78)	2 (0.29)	6 (1.00)			
ヘルパンギーナ	17 (0.50)		3 (0.33)	7 (1.00)	7 (1.17)			
流行性耳下腺炎	4 (0.12)		1 (0.11)	2 (0.29)			1 (0.50)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)			1 (0.50)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)						1 (1.00)	
無菌性髄膜炎	3 (0.50)			3 (3.00)				
マイコプラズマ肺炎	3 (0.50)		2 (1.00)		1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)				1 (1.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核7件(奈良市2、郡山3、中和2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(中和1)
4類感染症	レジオネラ症1件(吉野1)
5類感染症	梅毒2件(奈良市1、中和1) 風しん1件(郡山1)

❖ 第34週のトピックス ❖

◆IASR 40(8), 2019【特集】風疹・先天性風疹症候群 2019年5月現在
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/rubella-iasrtoc/9034-474t.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女																						5645 5858	
RSウイルス感染症	男女	3 1	6 3	16 10	8 2	3																	36 16	328 263
咽頭結膜熱	男女		2 3	2 3	1 1	1	1	1	2	1		1	2										11 6	337 240
A群溶連菌咽頭炎	男女		1 1	1 1	7 4	1 3	7 3	4 3	3 2	1 2	1 2	1 2	2 3	1	3								30 25	1178 882
感染性胃腸炎	男女		3 3	8 4	7 8	1 3	4 3	1 5	2 1	2 2	2 2	3 2	8 2	5	5								44 39	3286 2986
水痘	男女				1 1	1	2	1			1												6 6	180 123
手足口病	男女	1 1	2 3	7 3	4 3	4 2	2	1	2	1		1	4										28 11	1521 1291
伝染性紅斑	男女		2	1	1	2	2	3	3		1												13 12	220 192
突発性発しん	男女		6 2	3 4	1 1		1																11 7	251 191
ヘルパンギーナ	男女		1	2	3	2	3	1	2	1													9 8	355 321
流行性耳下腺炎	男女							1		1													2 2	32 29
急性出血性結膜炎	男女																							
流行性角結膜炎	男女												1				1						1 1	106 104
細菌性髄膜炎	男女		1																				1 1	6 6
無菌性髄膜炎	男女					1					1												2 1	7 4
マイコプラズマ肺炎	男女		1		1		1																1 2	21 26
クラミジア肺炎	男女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女	1																					1 1	46 34

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

